

平成26年度第2回柏市立図書館協議会会議録（視察報告）

1 開催日時

平成26年10月1日(水) 午前9時～午後4時

2 開催場所

野田市立中央小学校, 野田市立興風図書館

3 出席者

(委員)

松本会長, 井上副会長, 山宮委員, 金子委員, 田川委員, 鈴木委員, 川島委員, 小島委員, 橘委員, 田辺委員, 白井委員, 佐々木委員

(事務局)

藤江生涯学習部長, 長妻図書館長, 諏訪部副参事, 三浦副主幹, 利光副主幹, 糸山主事補

4 目的

「柏市子ども読書活動推進計画（第二次）」に基づき, 学校図書館運営等について, 先進市学校図書館を見学するとともに, 今年度の目的でもある郷土資料事業充実の一環として, 地域デジタルアーカイブ事業の先進公共図書館を視察見学するもの。

5 概要

(1) 野田市立中央小学校

低学年図書室（もりのほんだな）への読書支援ボランティアの活動について, 実際に活動しているボランティアによる事業説明及を受けた。

- ・平成15年「中央小読書支援ボランティア」設立。主な活動は, 読み聞かせ・図書相談・読書時間補助・本の整理, 補修, 選書等。ボランティア中心に図書室の壁面装飾・机椅子等の製作も行っている。
- ・ボランティアの内, 半分は卒業生OB。
- ・朝の読み聞かせ（月曜：2・4・6年, 木曜：1・3・5年）を25分間実施している。
- ・低学年用図書室「もりのほんだな」は, ほぼボランティアで運営。部屋の中は「野田の醤油」「おかしの家」「校内のいちょうの木」等, 季節感を出すように装飾を変えている。低学年にとって「心のオアシス」となることを目的としている。
- ・また, 現在は, 高学年の居場所についても計画的に製作を行っている。
- ・年1回, 市立図書館司書より, 研修を受けている。市立図書館側からの支援としては「団体貸出」のみ。

(2) 野田市立興風図書館

図書館概要について、館内見学、デジタルアーカイブの作成方法と利用等についての説明を受けた。

- ・現在、中央館である興風図書館は直営、関宿・北・南図書館の3館は指定管理。指定管理は公契約条例で最低賃金（時給）を高めに設定。
- ・面積が柏の本館の1.5倍、開架図書はほぼ同規模、保存庫が1.5倍となっており、貴重書庫を含め、野田市立図書館における「保存」の位置づけが高い。
- ・特徴としては、「興風会図書館」から引き継いだ古書・古文書多数保管。
- ・参考図書と視聴覚資料のある2階にはBDS（ブックディテクションシステム）を設置している。
※大正10年開設の私設図書館から移管され、数多くの明治期・江戸期の資料を所蔵し、資料の一部はデジタルアーカイブ化されている。
- ・YA（ヤングアダルト）コーナーが充実しているからか、相互貸借もライトノベル関係が多い。
- ・関宿図書館には「将棋関係資料」あり。
- ・興風図書館のみ、図書館ボランティアが活動、配架等に従事している。
- ・ボランティア団体は、ブックスタート・図書館おはなし会ボランティア、図書館修理・配架ボランティア、「朗読グループ あいの会」（音訳・DAISY製作）、野田点訳奉仕会
- ・地域アーカイブについては、国会図書館及び県立図書館等所管以外の「ニッチ」の分野を中心に公開できるよう事業を進めている。ただし、地元収集の一般写真等は著作権・肖像権等が不明確なものが多いため、公開対象外としている。
- ・地区図書館は地区コミュニティセンターとの複合施設（指定管理者）。各館図書館は10～12名（9時19時）のスタッフで運営。夜間等は図書館、センター職員兼務で運営。司書占有率は、7割と高い。

以上